



社会のきまりを守って

34 音のこうずい

電車に乗っていたときのことです。

電車が駅に着くと、ぼうしをかぶったお年よりが乗ってきました。何か気に入らないことでもあったのか、一人でもんくを言っています。お年よりの前にすわっている女の人は、どうしたらよいか少しとまどっている様子です。

(電車の中なんだから、しずかにしてほしいのに……。) ぼくは、そう思いました。

まもなく、どこからか気になる音が聞こえてきました。

シャカ シャカ シャカ シャカ シャカ

シャカ シャカ シャカ シャカ シャカ

電車のドアのそばに立っている男の人のイヤホンから、

10

5



- みんなが気持ちよく電車に乗るためには、どうすればよいでしょう。
- 今日のじゅぎょうで考えたことや感じたことをまとめましょう。



音がもれているのです。  
（うるさいなあ……。）

ぼくは、気になってしかたがありません。  
そこに、車内放送が流れました。

「ゆうせんせきふきんでは、こんざつ時にはけいたい電話の電げんをお切りください。その他の場所では、マナーモードにして通話はごえんりょください。」  
とつぜん、すわっている女の人のけいたい電話が鳴りだしました。

プルル プルル プルル  
プルル プルル プルル

女の人は、急いでかばんからけいたい電話を取り出すと、  
「もしもし、もしもし……。」

と言って、話し始めました。いつまでもおしゃべりをしていて、なかなか終わりません。

話が終わったかと思うと、また、けいたい電話が鳴りました。今度は、ちがう着信音です。

あわててけいたい電話を取り出したおじさんは、

「今、電車の中なんだ。おりてからすぐに電話するから……。」

そう言って、けいたい電話を切りました。

しばらくすると、今度は、

カタ カタ カタ カタ

と、みような音が聞こえてくるではありませんか。

見ると、スーツがたの男の人が、ぎせきにすわって、  
むちゅうになってパソコンのキーボードを打っているの  
です。

とつぜん、一人でもんくを言っていたお年よりが、大  
きな声で言いました。

「ここをどこだと思ってるんだ！」  
（電車の中なのに、みんな、どうしてしまったんだろ  
う……。）

ぼくは、考えこんでしまいました。

編集委員会 作